

2011年度

科目名	児童福祉論Ⅰ		
担当教員	農野 寛治		
配当	教福2	コード	21020
開期	前期	講時	火曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	現代のわが国における子どもの現状を理解し、児童家庭福祉の理念と概念、制度・実施体制等の仕組みを学ぶ。また、今後の児童家庭福祉の動向と展望について考える。		
目的と概要	私たちの社会では少子高齢化が進行し、その中でも子どもにまつわる様々な事件が散見されている。子どもにかかわる専門職として児童家庭福祉に関する知識は、持つべき知見の基盤として重要である。特に子どもの人権と自己実現に向けて、子どもたちやその家庭をどのように支援するかを考えることができる資質を高めることを目的として、児童家庭福祉の体系的理解とその意義について説明する。		
成績評価法	出席、授業態度、課題、試験等によって総合的に評価する。		
テキスト	『子ども家庭福祉論』、西尾祐吾・小崎恭弘編、晃洋書房		
参考書	『保育小六法 2011年版』、ミネルヴァ書房		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	子どもの福祉にかかわる制度や施策の理解のためには、各種の法令の読み込みが求められるため、必要な条項等の解説はするが、自身でも原典にあたる姿勢を持って欲しい。また、授業中の諸助言に対しては、まじめに取り組んで欲しい。〈準備学習〉児童福祉法等、児童福祉体制の理解に必要な法源を提示するので、毎回の授業の後、是非原典に当たっておくこと。また、厚生労働省等のホームページ等も活用するように、授業の中で示すので、情報を確認しておくこと。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現代社会における児童家庭福祉の意義 子どもを護るためには、まず家庭を護ること。新たな時代の子ども家庭福祉の理念を理解する。</li> <li>2) 子どもの福祉の歴史 児童福祉の黎明期である明治時代以降の子どもの福祉の歴史についての知見を深める。</li> <li>3) 児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法を中心に、さまざまな法制度について理解する。</li> <li>4) 児童家庭福祉の行財政と実施機関 子どもや家庭の福祉を実現するために、投入される財と行政の運営、児童相談所をはじめとする実施機関について理解する。</li> <li>5) 児童福祉施設の概要 児童福祉法に規定される児童福祉施設の種別とそれぞれの施設が持つ目的を理解する。</li> <li>6) 児童家庭福祉の専門職 児童相談所における児童福祉司をはじめ、さまざまな援助職についての知見を広める。</li> <li>7) 児童家庭福祉の現状と課題 現代のわが国の子ども家庭問題について多様な視座から理解し考える。</li> <li>8) 少子化と保育・子育て支援サービス 少子化社会における保育施策の展開と地域における子育て支援サービスの実情を把握する。</li> <li>9) 母子保健と児童健全育成施策 健やかに子どもが生まれ育つための環境づくりの取り組みについて理解する。</li> <li>10) 児童虐待・ドメスティックバイオレンスの予防 家庭における人権侵害の現状と、予防への対応について理解する。</li> <li>11) 社会的養護 社会的代替保護養育の領域について知見を深める。</li> <li>12) 障がい児への支援 教育と福祉、医療等の総合的支援と地域におけるノーマライゼーションの実現について考える。</li> </ol>			

- 1 3) 少年非行対策  
厳罰主義か保護教育か、揺れ動く少年非行の制度について考える。
- 1 4) 児童家庭福祉の動向・次世代育成支援  
子どもの育成を社会全体で取り組む、次世代育成支援の取り組みについて知見を深める。
- 1 5) 保健医療・教育・保育・福祉等との連携とネットワーク  
子育て家庭に対する総合的支援体制の確立のために、連携とネットワークの重要性とその取り組みについての知見を得る。